

県内の遺跡・遺物58

うま だか
馬高遺跡(昭和54年国史跡)出土品300点(国重要文化財)
 (遺跡所在地：長岡市関原町1丁目字中原)

馬高遺跡は、昭和54年、国史跡に指定された縄文時代中期(約5,000～4,000年前)の大規模な集落跡で、「**火焰土器**」発祥の地として全国的にも著名です。近藤勘治郎・近藤篤三郎父子による発掘調査により、縄文時代中期を中心とする遺物や石組炉をもつ住居跡が確認されました。上記の「**火焰土器**」とは、昭和11年12月31日に近藤篤三郎氏によって発見され、復元された一つの土器につけられた愛称で、その形が燃え上がる焔ほのおに似ていたことから、この名称が生まれました。

この「**火焰土器**」と同じ特徴(鶏冠状把手や鋸歯状突起など)をもつ土器は信濃川上・中流域を中心に県内各地、福島県等で出土しており、これらの土器は「**火焰型土器**」と呼ばれるようになりました。このほか馬高遺跡では、王冠型土器・深鉢・土偶・滑車形耳飾(みまかざり)・三角形土版(とぼん)・三角壙形土製品(とうがた)・玉(たま)・石鏃(せきぞく)・小型石槍(せきそう)・石匙(いしさじ)・石棒・打製石斧・磨製石斧・凹石(くぼみ)・石皿などの多彩な遺物が出土しています。「**火焰土器**」は平成2年に国重要文化財に指定され、その他の主要な土器・石器等を合わせた300点が平成14年に追加指定を受けています。

近年、史跡整備の基本的なデータを得るために長岡市教育委員会が発掘調査を行い、遺跡の北側と南側に大小二つの集落跡が確認されました。特に北側の集落跡では、広場を中心に住居・貯蔵穴・墓穴などの施設が馬蹄形(U字形)状にめぐる環状集落の姿が明らかになっています。なお、馬高遺跡で発見された主な出土品は、長岡市立科学博物館で見ることができます。

写真提供：長岡市立科学博物館

1 「**火焰土器**」(火焰A式1号深鉢土器 高さ30cm)2 **王冠型土器**(高さ28.5cm)3 **大型土偶**(高さ18cm)4 **三角形土版**5 **三角壙形土製品**

埋文にいがたNo 60

発行 (財)新潟県埋蔵文化財調査事業団
 〒956-0845 新潟市秋葉区金津93番地1
 TEL (0250) 25-3981
 FAX (0250) 25-3986
 e-mail : niigata@maibun.net
 URL : http://www.maibun.net
 印刷 阿部印刷株式会社